

■生態系調査実習(H23.10.5) at 茨城県つくばみらい市の「寺畑地区」



・生態系調査実習は、寺畑ふるさと会館を拠点として、鳥類、草本類、魚類の調査実習を行いました。



・鳥類調査状況
鳥類調査は班でルートを選定を行い、ルートセンサス法を用いて調査を行いました。調査用具は双眼鏡、フィールドスコープを使用。



・鳥類調査状況
遠くの電柱にいる猛禽類を、フィールドスコープを用いてルートセンサス法により同定している状況。



・草本類調査状況(ミッション1)方形枠(コドラード)調査
1m四方の枠で囲った部分について、目視により植生図、植生種、植被率、群度、被度、総合優先度、草高を記録しました。



・草本類調査状況(ミッション1)方形枠(コドラード)調査
方形枠のアップ。



・草本類調査(ミッション2)フローラ調査
水田畦畔付近に生息する花を付けた植物を採取しました。調査道具は田んぼの生き物図鑑、ビニール袋。



・草本類調査(ミッション2)フローラ調査
採取した、花のある植物を図鑑を見ながら同定しました。同定結果は、「スカシタゴボウ」、「ノゲシ」、「タカサブロウ」でした。



・昼食は寺畑ふるさと会館で、地元の方の手料理をいただきました。大変美味しかったため、お味噌汁を2杯、お赤飯を3杯とおかわりしました。



・魚類調査(投網実習)
雨天のため、予定していた「電気ショッカー」、「タモ網」、「ふくろ網」による、採捕を中止し、代わりに寺畑ふるさと会館の庭をお借りし、投網の投げ方の実習を行いました。



・魚類調査(投網実習)
最初は網がきれいに広がりませんが、何回も投げているうちに、このようにきれいに広がるようになりました。



・魚類調査(投網実習)
投網の投げ方については、左手の肩や肘への網のかけ方や、右手での網のつまみ方、腰の回転など、実習でないとなかなか習得できないものです。



・魚類調査(同定)
魚が捕れなかった場合に備え、予め購入しておいた魚を使用し、図鑑を基に同定しました。なお、コーラは計測時に魚が暴れないように麻酔をかけるために使用。専用の薬剤も市販されていますが、炭酸飲料で代用できるとのことです。